

同時記者発表

高松経済記者クラブ 徳島県政記者クラブ

愛媛番町記者クラブ 高知県政記者クラブ

令和2年6月30日

四国地方整備局

『四国港湾ビジョン2040 ～「効・創・適」新しい港の様式～』を策定

四国地方整備局では、10年から20年後の将来を見据え、「港湾による物流・人流の高度化」と「港湾空間の活用による付加価値力の創出」により四国の持続可能な発展を実現するため、今後特に推進すべき施策(3本柱)等をまとめた『四国港湾ビジョン2040 ～「効・創・適」新しい港の様式～』を策定しました。

四国の港湾ビジョンについては、令和元年8月以降、四国港湾ビジョン検討委員会(座長:磯部雅彦 高知工科大学 学長)において、3回にわたる議論を進めてきました。

『四国港湾ビジョン2040 ～「効・創・適」新しい港の様式～』は、これまでの議論を踏まえ、将来の四国の港湾が目指すべき未来像として、以下に今後特に推進すべき施策をとりまとめました。

▶ 今後特に推進すべき施策(3本柱)

- ① 労働力不足に立ち向かう港湾 (物流の**効**率化)
- ② 地域に新たな価値を産み出す港湾 (賑わいの**創**出)
- ③ 自然環境の変化に対応する港湾 (自然環境への**適**応)

今後は、3本柱の施策の効果を最大限発揮するために、各柱における施策を連携させつつ、各港の特徴や地域性等の実情に応じて、国、自治体、民間事業者等が一体となり、施策の着実な実施を図ってまいります。

記

＜添付資料＞

- ・四国港湾ビジョン2040 ～「効・創・適」新しい港の様式～ (概要)
- ・四国港湾ビジョン2040 ～「効・創・適」新しい港の様式～ (本文)
- ・四国港湾ビジョン2040 ～「効・創・適」新しい港の様式～ (参考資料集)

＜参考＞

- ・四国港湾ビジョン検討委員会

<https://www.pa.skr.mlit.go.jp/general/policy/vision.html>

＜問い合わせ先＞

四国地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 課長 篠原 真三
" 課長補佐 廣田 篤

電話:087-811-8330(直通)